

PDCAサイクルの確立に向けた取組状況

令和 2 年 7 月 3 1 日
統計委員会担当室

I 再発防止策（統計委員会建議）における改善策

「公的統計の総合的品質管理を目指した取組について」（令和元年9月30日統計委員会建議。
以下「再発防止策」という。）（抄）

I 統計作成プロセスの適正化

1.PDCAサイクルによるガバナンスの確立

（略）

調査の企画・変更においては、専門的知見に基づき調査計画を策定し、それに沿って調査を実施した後に、統計幹事のトップマネジメントの下で事後検証を行い、以後の調査計画を改善するという「PDCAサイクル」が確実に回る様な仕組みの整備が必要である。

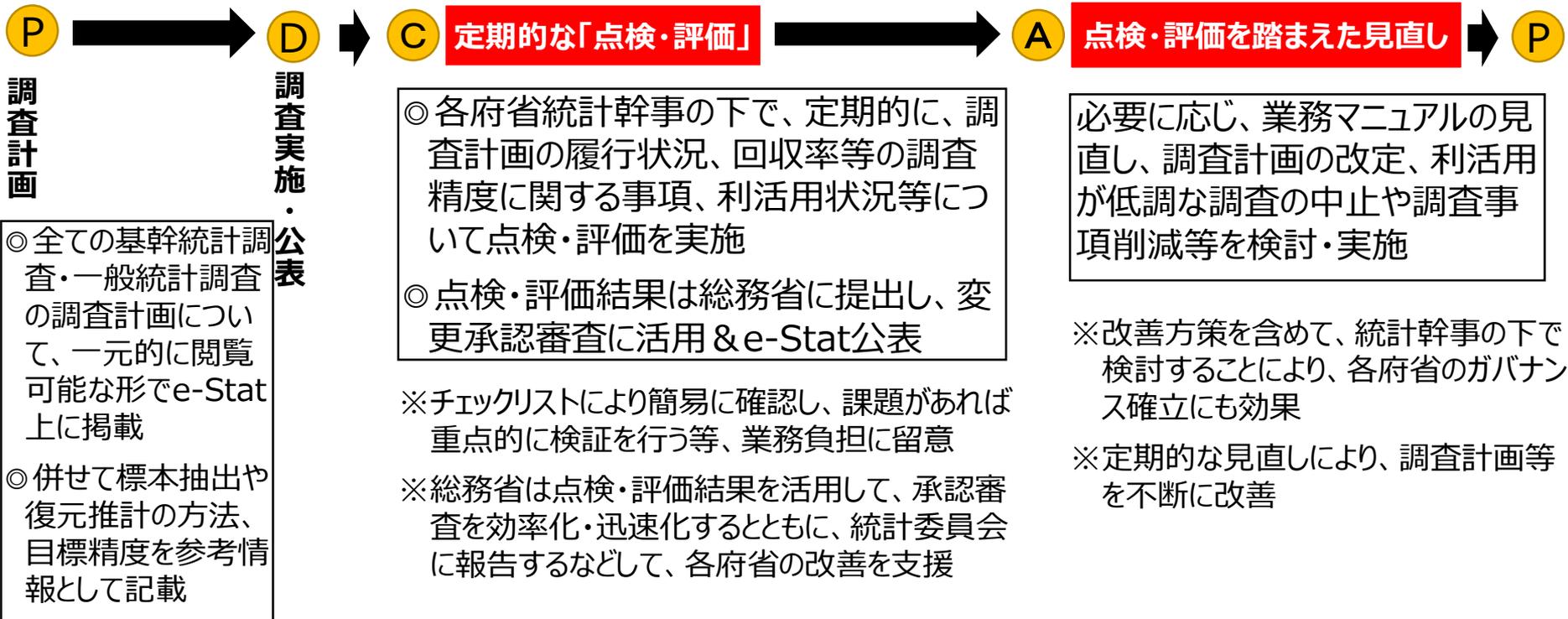
（改善策）

- 各府省において、調査実施後（又は定期的）に統計幹事の下で、調査計画の履行状況、回収率等の調査精度に関する事項、利活用状況等について点検・評価を行うことをルール化する。
- 点検・評価を踏まえ、必要に応じて、業務マニュアルの修正、調査計画の改定、利活用が低調な調査の中止や調査事項の削減等の措置を講ずる。
- 点検・評価結果は、総務省に提出するとともに、各府省のホームページで公表する。
- 点検・評価に当たっては、調査計画の履行状況等をチェックリストにより簡易に確認し、課題が発見されたものについて重点的な検証を行うなど、業務負担が大きくなるよう留意する。

Ⅱ 再発防止策を踏まえた取組状況

- P D C Aサイクル確立については、各府省における主体的な取組が不可欠である一方、政府全体としての統計に関するガバナンスの改善や統計作成プロセスの透明性確保を図るため、一定の統一性・品質の確保が必要
- このため、主要府省の実務者によるワーキンググループにおける検討を踏まえ、各府省における取組の指針となる点検・評価ガイドラインを策定（令和2年7月30日統計行政推進会議申合せ）

【再発防止策を踏まえたP D C Aサイクルの確立イメージ】



Ⅲ 点検・評価ガイドラインの概要

適用範囲

基幹統計調査（統計法第2条第6項）

一般統計調査（統計法第2条第7項）

※試験調査や母集団情報の整備を目的とした1回限りの一般統計調査は除く

実施方法

点検・評価の観点

調査計画と調査の実態との整合性確保、必要な精度の確保・向上等。統計幹事の下で、各府省において独自の観点を付加することも可

基本的な実施手順

チェックリスト^{参考1}を用いて、現状等を簡潔にチェックし、課題や改善点を把握。この課題等について、調査計画の改定等、改善に向けた対応を検討

実施体制

統計幹事の下で、リソースや所管統計調査の特性に応じた適切な体制を整備して実施。分析審査官の機能等も活用

その他

計画的な推進

各府省で定めた実施計画に基づき漏れや重複を排除しつつ定期的に実施。その際、承認審査等への活用にも留意

透明性の確保

e-Stat内に専用サイトを整備し、チェックリストによる課題や改善点の把握状況とその対応を一元的に閲覧可能に^{参考2}。順次、充実の予定

参考 1 点検・評価の標準的なチェックリスト（抜粋）

<調査計画との整合性確保の観点>

① 調査計画の項目に沿って、整合性や妥当性をチェック

② 調査計画の履行状況や、調査結果の利活用状況に変化がないか等を確認

③ 不整合があった場合は、調査計画改定等の対応方法を検討

点検・評価事項等 点検・評価項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況			
	整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要(選択・自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)	
(例) 1 調査の目的 2 調査対象の範囲 3 . . .						
12 不整合は生じていないものの、 改善を検討(予定)している事項		検討(予定)している 事項の有無(選択記入)	検討(予定)している事項の概要 (自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)

④ 不整合がなくても、指摘事項や課題がある場合は、改善を検討

<精度の確保・向上等の観点>

⑤ 調査精度に関する事項の管理状況を把握

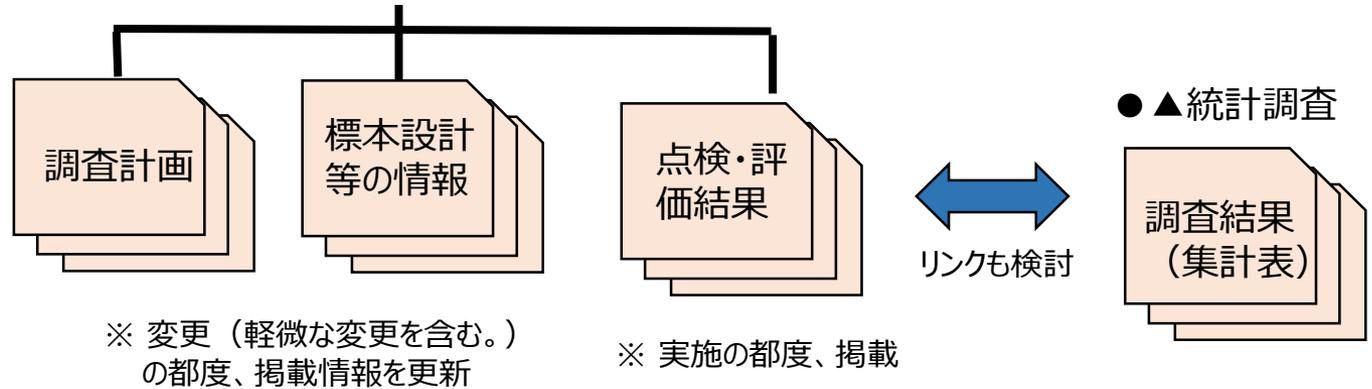
目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内 容・考え方等(自由記入。別紙も可)	目安としている指標の 設定時期(自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
達成精度					
回収率・回答率					
回収標本数					
カバレッジ					
その他					
設定なし					

参考2 e-Statによる一元的な閲覧イメージ

e-Stat内 専用サイト

- ▲統計調査
- ×統計調査
- 統計調査
- ⋮
- ⋮
- ⋮

【専用サイト内で●▲統計調査を検索】



調査計画に付与する検索キー情報(一部を抜粋)

調査単位	選定の方法	調査方法	使用する統計基準	調査周期	承認年月日 (年・月・日)
個人	全数	調査員調査	日本標準産業分類	毎月	
世帯	無作為抽出	郵送調査	日本標準職業分類	四半期	
事業所	無作為抽出(全数層あり)	オンライン調査	日本標準商品分類	1年	
企業	有意抽出	その他	疾病、傷病及び死因の統計分類	2年	

調査計画ファイルの登録時に、検索キー情報の設定を行うことによって、e-Stat公開画面上において検索キーによる絞込検索が可能となる。

IV 統計委員会審議との関係について (現時点で想定されるイメージ)

